



2016 年 6 月

第252号

The Service Club of The YMCA

東京八王子 ワイズメンズクラブ

会 長 長谷川 あや子
副会長 中塚 辰生 望月 隆珉
書 記 山本 英次
会 計 小口 多津子
ネット会長 大久保 重子
担当主事 中里 敦
ブリテン 山本 英次・茂木 稔
大久保 清
直前会長 久保田 貞視

国際会長主題 Wichian Boornmapajorn(タイ) 「信念のあるミッション」
スローガン: "Count Your Blessing" 「恵みを数えよう」
アジア地域会長主題 Edward K. W. Ong (シンガポール) 「愛をもって奉仕をしよう」
スローガン: "Let it Begin with Me" 「まず自分から始めよう」
東日本区理事主題 渡辺 隆 (甲府): 「原点に立って、未来へステップ」
"Stand at the origin and take a step for the future"
あずさ部部長主題 標 克明 (甲府) 「ワイズメンとして一歩前進」
クラブ会長主題 長谷川あや子 (八王子) 「若い人の成長を願い、ともに歩む」

2016年6月 第一例会

日時: 6月11日 (土) 18:00~20:00

場所: 北野事務所 2階 大会議室

受付: 大久保・福田

司会: 橋本

開会点鐘 会 長

ワイズソング 一 同

ワイズの信条 一 同

ゲスト・ビジターの紹介 会 長

IYC 参加者への支援金贈呈
(須郷さん、佐宗さん) 会 長

報告: 連絡事項 会 長・担当者

スマイル 大久保・福田

卓話者紹介 多 河

卓話 Tap Dance の夕べ

卓話者: Yuki さん Lily さん (Tap Dance Freiheit)

聖書朗読・食前感謝 多 河

会食 一 同

ハッピーバースデー 会 長

閉会点鐘 会 長

巻頭言

DBC 浜名湖合同例会 5月21・22 (土・日)

茂木 稔

今年の大阪セントラルクラブとの合同例会は八王子クラブが担当年で、昨年11月より候補地を両クラブの中間地点である静岡市と浜松市に下調べに行きました。静岡では登呂遺跡や、久能山、駿府城等を巡りましたが、急な階段が多く、足の弱い方には負担が多いので諦めて浜松へと行き、楽器博物館と浜名湖の宿国民宿舎奥浜名湖を見て来ました。そして宿が送迎バスを出してくれることが判り、それならばとこの案を決めました。

5月21日(土)は爽やかな快晴であり、新幹線に乗るとウキウキと期待感が上がります。今回の参加者は大阪10名、

先月の例会ポイント (5月)		BF ポイント	
在籍	18名	切手 (国内・海外)	0g
メン	14名	累計	240g
メイキャップ	1名	現金	0円
出席率	83%	累計	0円
メネット	3名	スマイル	6,500円
ゲスト	0名	累計	82,501円
ビジター	0名		
ひつじぐも	0名	オークション	0円
		累計	15,000円

(聖 句)

「娘シオンよ、大いに踊れ。娘エルサレムよ、歓呼の声をあげよ。見よ、あなたの王が来る。彼は神に従い、勝利を与えられた者／高ぶることなく、ろばに乗って来る／雌ろばの子であるろばに乗って。わたしはエフライムから戦車を／エルサレムから軍馬を絶つ。戦いの弓は絶たれ／諸国の民に平和が告げられる。彼の支配は海から海へ／大河から地の果てにまで及ぶ。」

(ゼカリヤ書9章9節~10節)

八王子6名と例年に比して八王子は極端に少なくなりました。浜松駅で全員が揃い、市営の楽器博物館を見学しましたが、中には今回の訪問を期待していたという方もおり、各自じっくりと館内を見て回りました。1時半には送迎バスが迎えに来て宿へと向かいましたが、運転手が気を利かせて浜松城が見えるルートを回ってくれ、また、江戸時代からの松並木がある姫街道を歩きました。宿に着き会議室で合同例会を持ち、夕日が湖に落ちる頃から食堂での夕食となりました。お料理は和定食が出されましたが盛り沢山で最後にはやはりうなぎが出ました。

二日目の早朝礼拝は小口さんが担い、宿の前の公園での林間で行われました。送迎バスで瀬戸港まで送ってもらい、船のデッキの上では気持ちの良い潮風に吹かれ、湖上船で30分くらいでフラワーパークの棧橋に着きました。しかし、この入場前にハプニングがありました。入場案内の整理員が誤った案内をして我々を大きく無駄歩きをさせたのです。いよいよ目的のメインテーマのパーク内は池が続きその周りには桜並木があり、芝生は実によく手入れされており雑草の混入がありません。イングリッシュガーデンには色々な花と一緒に咲き競っており素晴らしい景色です。バラ園に皆で行きましたがバラの最高のシーズンに当り、無数の色の種類や、各国の皇室の方の名前の付いたバラや、バラのアーチを巡りました。やはり以前フラワー博覧会が開かれた会場とあって実に広くて素晴らしい会場で花菖蒲園、つつじ園、水芭蕉園等、は時間が足らず回れず残念な想いが残りました。

帰路も早めで夕刻には八王子に帰り着きました。

第3回あずさ部アイリス評議会

長谷川 あや子

五月晴れの5月14日、高尾の森わくわくビレッジで、今年度最後の評議会が我がクラブのホストで開催されました。7年ぶりのホストでしたので、年度当初から気になっておりましたが、会場は高尾わくわくビレッジにお願いしたいと思い、半年前に申し込みました。

振り返りますと2008年は「高尾・天狗の森評議会」、2009年は「オオルリ評議会」、そして今回は「アイリス評議会」です。昨年の夏、「高尾わくわくの花壇をワイズガーデンとして管理してもらえないか」というお話があり、早速試験的に始めたところ。秋にアイリスを植え付けた時から評議会のネーミングは「アイリス」にしたいと密かに思っておりました。5月14日に開花してほしい・・・祈りは通じました。当日は黄色、青紫の花が満開となりました。

クラブの女性陣による受付を経て、1:30 開会式が始まり、中塚さんの司会、橋本さんのハーモニカ伴奏、並木さんの聖書朗読・祈祷、ホストクラブ会長の歓迎の挨拶へと進み、評議会では標部長の評議会成立宣言、挨拶の後、議案審議が始まりました。第一号議案 2016-2017 年度あずさ部活動方針承認の件、第二号議案 2016-17 年度あずさ部予算案承認の件、第三号議案 2016-17 年度あずさ部部会日程承認の件、第四号議案 2016-17 年度あずさ部評議会日程承認の件、第五号議案 2016-17 年度あずさ部役員承認の件、第六号議案 2017-18 年度あずさ部部長承認の件が審議されすべて承認されました。第3回東日本区役員会報告の後、事業主査活動報告、クラブ会長活動報告がありましたが、今年度から次年度へ繋げられたらよいと思います。閉会式後、わくわくビレッジ入り口の前で写真撮影クラブが誇る山本カメラマンにお願いしました。そして定刻通り15:45からお楽しみの懇親会です。司会は山本さんでした。4月5日、館長の佐藤さん、カフェテリアろんたんの店長さんと共に内容を考えきめ細かに準備いたしましたが、当日は出席者の皆さんがびっくりするくらい素晴らしいものでした。いろいろとご配慮頂いたお蔭で大好評でした。そして席上で熊本地方大地震のために、53,500円の支援金が寄せられましたことをご報告致します。皆さまのご協力のお蔭でホストクラブとしての責任を果たせました。本当にありがとうございました。

出席者：63名。八王子クラブ出席者：大久保・大久保メネ・久保田・小口・佐藤・多河・辻メネ・中里・中塚・並木・橋本・福田・眞野・眞野メネ・茂木・山本・長谷川



DBC合同例会



早朝礼拝



東京多摩みなみクラブ設立総会に参加して

久保田貞視

2016年5月22日(日)東京多摩みなみクラブの設立総会がConti多摩センターで開催され、中里担当主事、酢屋さん(休会中)と出席しました。出席者総数68名。設立経緯は、昨年1月の在京ワイズ合同新年会の担当が東京まちだクラブと東京コスモスクラブで、新年会終了後、夫々、25周年・20周年の事業として4月28日、両クラブで設立準備委員会が組織され、準備委員長に伊藤幾夫ワイズが指名されました。8月から東新部役員、田中博之直前理事、東京武蔵野多摩クラブと東京八王子クラブが協力クラブとして加わり、拡大設立準備委員会、11月から準備会となり、今回の設立総会まで毎月例会を継続し、15名での新クラブ設立となりました。当クラブからも長谷川会長と久保田が昨年8月以降、殆ど出席し、協力してきました。

昨年4月から1年1ヶ月で設立総会にこぎつけられたのは、伊藤準備委員長初め両クラブの全面的な協力、他クラブのワイズのメンバーの紹介、及び田中直前理事の多摩センターでの自社及び社会福祉協議会からのリクルートが功を奏したものです。

設立総会は、スポンサークラブの東京まちだクラブ後藤会長の開会点鐘で始まり、まちだクラブの平本牧師の奨励はペトロの手紙1章4節の「・・朽ちず、汚れず、しばまない財産を受け継ぐ者・・」を新設のクラブへのはなむけとし激励しました。続いて、スポンサークラブの会長挨拶、設立の経過報告があり、総会議事としてクラブ会則承認、クラブ予算承認、クラブ役員承認が議決されました。そのあと、チャーター申請者全員が署名しました。

祝辞は東日本区渡辺理事、東京YMCA菅谷副総主事、東新部伊丹部長が述べられ、出席者紹介、新クラブ会員紹介があり、新クラブ会長となった石田孝次氏より、「新クラブとしては博愛と慈悲の心を持って奉仕活動をしてきたい。」と意欲を示されました。閉会点鐘は、同じくスポンサークラブの東京コスモスクラブの後藤会長でした。

その後、懇親会に移り、太田東新部直前部長の祝辞があり、東日本区利根川次期理事の乾杯の音頭に始まり、次々期理事の熱海クラブの栗本ワイズ及び二つの協力クラブの祝辞があり、最後は新クラブの綿引副会長のお礼の言葉で閉会となりました。多種多様な人材での新クラブであり将来が期待できるものと思われま

石巻広域クラブのチャーターナイトに参加して

久保田貞視

2016年5月28日(土)石巻グランドホテルで石巻広域ワイズメンズクラブのチャーターナイトが開催され、出席しましたので概略報告いたします。

同クラブは4月2日に既に設立総会を開催し、この度、国際協会加盟認証状伝達式を迎えました。チャーターメンバーは21名で多彩な人材で構成されています。本日の出席者は100名を超える盛大なチャーターナイトとなりました。チャーターメンバーは殆どの方が被災者で、大震災・津波による被災地復興に向けて奉仕活動を継続されている由で、奉仕精神を持った貴重な人材が集まったクラブであり、今後が大いに期待されます。スポンサークラブは仙台の3クラブであり、設立準備委員長の清水弘一ワイズの不屈の熱情が奏功したものといえま

しょう。開会点鐘は、新会長の平井氏(酒造経営者であり、牧師)により、そして、スポンサークラブ代表の挨拶、設立経過報告、加盟認証状伝達式、式辞(入会式)、チャーターメンバー紹介があり、クラブバナー披露がありました。バナーは支倉常長ら慶長使節団のサン・ファン・パウティスタ号とワイズの太陽を出る姿をイメージしたもの。

来賓挨拶は亀山石巻市長、浅野石巻商工会議所会頭、大槻石巻市社会福祉協議会会長、日本YMCA同盟島田総主事と続き、平井会長の決意表明あり

ました。第2部の「YMCA、石巻センターの5年間のあゆみ」、一東日本大震災支援活動を振り返って一、は東京YMCAの伊藤剛士さんからあり、亀山市長からは「石巻市の復興状況と今後の取り組み」の報告がありました。この度の震災で、石巻市は3,600人の死亡、住宅7千戸の崩壊、5万戸以上の損害で全戸数の76.7%が被災した。仮設住宅7300戸。今年で公営住宅は建設予定4500戸のうち、54%が完成した。課題は住民の間のコミュニケーション。復興基本計画は10年。第3部の祝会は東日本区次期理事の利根川ワイズの乾杯の音頭で懇親会となった。お礼の言葉は、新クラブ副会長の日野峻ワイズ、そのあと平井会長の閉会点鐘で閉会しました。活気に満ちた有意義な会でした。

翌日は石巻・女川地区の被災地の復興状況視察を仙台YMCA村井総主事の運転するバスで案内していただいた。復興はまだ途上で完全に復興するには更に数年はかかることが予想されます。石巻広域クラブのご発展を祈念し、仙台地区ワイズの関係者に感謝いたします。

さぎ草の植え替え

小口多津子

今年も5月5日に恒例となった鷺(さぎ)草の植え替えを、クラブの園芸家、茂木さんのお宅でしました。メンバーと元メンバーの調さんも参加して、日差しの強い5月の爽やかな午後、バラが香る素敵なお庭にテーブルを出して楽しい一日でした。毎年のごことで手順は判っているので、手は忙しくなります。去年のままにしてあった鉢の中の球根を探し、別の鉢に8個ほど赤玉土を混ぜた新しい土の中に植え込み、その1個ずつに丁寧に水苔を巻き付けます。かわいい球根を見つけては声が一段と高くなり、頭の中では咲き誇った真っ白なシラサギの姿を想像して手を動かしています。

40分ほどで終わり、あとは楽しいティータイム。洋子メネットが丁寧に仕込まれた甘いリング漬けのお菓子。私これも楽しみの一つで参加している次第です。

この5月半ばにDBCの大阪セントラルクラブとの合同例会が、浜松の浜名湖畔でありました。いつも参加される元大阪セントラルのメンバーだった、大阪河内クラブの丸尾欽造さんが、例会の挨拶の中でこういうことを話されました。「2003年に八王子大学セミナーハウスでの合同例会の時に、もらったさぎ草と桜草がしばらくは、それなりに咲いたのですが飼育(笑い)を間違えて終わってしまいました。でも今から2年ほど前に茂木さんが送って下さったのが今は元気に咲いていますよ」。

昔、茂木さんはこのさぎ草を一度に20鉢以上、作られては評議会やDBC例会などでクラブファンドの元として売って下さったのです。

それが、今も何処かで、誰かの家でずっと植え替えが続けられているということに感動します。さぎ草が新しい芽を出す頃が、丁度DBC合同例会と重なるのも不思議なめぐり合わせです。



小口さん家のサギ草(昨年のもの)

高尾の森わくわくビレッジ報告(6月号)

館長 佐藤 信也

6月に入り高尾でもひにひに暖かくなり初夏の陽気であります。

5月14日(土)にはアイリス評議会(あずさ部評議会)で多くのワイズメン、メネットの皆様へご利用を頂きありがとうございました。花壇のアイリスもこの日を目掛けて綺麗に咲きほころび、あずさ部の皆様へも「素晴らしいですね」とお褒めのお言葉を何人かの方より頂きました。皆様のお働きに改めて感謝申し上げます。また、評議会のホストクラブとしての準備、実施、片付けと細部に渡りお勤め本当にお疲れ様でした。

5月29日には若いフレッシュなひつじくもメンバーと共に一時汗をかきながら裏山の草刈、バーベキュー、ゲームなど楽しい時間を過ごされ、花壇へ紅葉牡丹、サルビアの種付けも頂きました。ありがとうございます。今後、苗となり秋口には綺麗な花が咲く事を願っております。

6月のTWVは開所12年目を向かえ初めて3,400名の宿泊予約を頂きスタッフは嬉しい悲鳴を上げております。近くて遠い高尾ではありますが、今後もご支援を頂ければ幸いです。

6月のイベント予定

お孫さんと一緒に楽しみにきませんか?

カラフルゴムで作るアクセサリ

実施日: 6月19日(日)

内容: カラフルなゴムを使ってプレスレットを作ります。一つはリングが繋がった様なデザイン。もうひとつはお花の付いたデザイン。髪飾りに使えば花だけをリングとしても楽しめます。

対象: 小学生(小学生までは保護者同伴)以上。それ以下でも保護者がお手伝いくださいれば可能です。

募集数: 各時間帯5名 ①10:00 ②11:00 ③13:30 ④14:30

参加費: 432円(消費税込み)

申込み: お電話または当日フロントにて申込み

中央大学ひつじくも 新入会員歓迎?草刈り



中大・学Y便り

IYC を控えて

須郷利貴

8月1日から7日にかけて、台湾の台北にてインターナショナル・ユース・コンボケーション (IYC) が開催されます。IYC では世界中のユースが2年に1度一か所に集まり、これからの活動や決められた題目について話し合います。

この他にも、国々の文化交流や観光、レクリエーションなど、充実したプログラムとなっています。

私が最初にこのIYCの存在を知った時、今までの自分を大きく変え、成長できる良いきっかけになると確信しました。英語だけの環境に身を置くこと、世界中のユースたちと意見を交換すること、なにより大好きな台湾に行くことができること、これらの全てが魅力的であり、失敗を恐れて貴重な機会を見過ごすよりも、挑戦していきたいと思いました。そしてそこで得たものをYMCAへ還元していきたいと感じ、参加を希望しました。

IYCではお互いの意見を英語で聞き、理解し、伝えなくてはならないため、参加する前に十分に英語に慣れておかなければなりません。

また、社会問題・国際問題について詳しくなり、それに対するの意見を確立させることも求められていました。私は英語が得意というわけではなかったもので、日々の英語の勉強に加えてビデオ通話で英会話をする勉強法を取り入れることにしました。

始めたばかりの頃は見知らぬ外国人の先生と話すことにとっても緊張し、自己紹介をするほんの数分でさえ会話に困ってしまうほどでした。しかし、現在では英会話の通算時間が4000分を超え、会話をすることに慣れてしまいました。また、ニュースについて討論することも出来るので、自分の意見を相手に伝えやすくするトレーニングにもなっていると実感しています。

IYCに参加してから「英語を勉強しておけばよかった」と後悔したくありません。より多くのものを得るために英語を更に勉強し、IYCを経て成長した姿を皆様にお見せしたいです。

西東京センター便り

西東京YMCA便り

中里 敦

新年度を迎えて西東京センターは忙しい日々を過ごしてきました。その一つに新しい事業の開始があります。

6月1日より「放課後等デイサービス」を行う予定でいます。この事業は、障がいのある子どもたちの学童保育のようなものです。行政の補助金事業であり、東京都への様々な申請書類の提出が求められ、そのために人員の確保、施設の改修も必要でした。

西東京センターにおいては、館内事業の展開と安定した財政基盤の確立が懸案事項であり、この事業に着手したことは大きな事業展開となっていきます。まだ、始っていないためこの先どのようなようになっていくか不安もあります。

また、新しい事業を生み出すことは職員一人ひとりの負担も大きくなっています。その様な中でも明るい材料もあります。それは何よりも館内がきれいになったことです。

床のタイルカーペットを明るめの色に張り替え、新しくなった事をきっかけに土足禁止としました。靴を脱ぐことに不便をおかけする面もありますが、子どもたちが床に直接座ったり、寝転んだりしながらゆったりとする姿を見ると変えて良かったと感じます。日本文化の良さが表れています。

これは、これから始める放課後等デイサービスに来る子どもたちにとってもゆっくりと出来る場になってくれると信じています。それから断捨離を実行し、棚も減らし、事務所の位置も変えました。

以前と部屋の広さは変わりませんが、広くなったように誰もが感じます。それだけ、空間が確保できたことは、人をお迎えできる場所も出来たこととなります。

これからは、昼間静かだったセンターに子どもたちの声が響きます。人が出入りするセンターとなります。ぜひ、皆さんも模様替えしたセンターを見にお越しください。お待ちしております。そして、新しい事業が必要とされる人たちに対して働きとなるよう、お支えと祈りを願います。

(お 話)

「ゼカリヤという預言者は、紀元前520年ころにはバビロン捕囚から帰還して、神殿建設に協力し預言した人のようですが、ゼカリヤ書の9章以下は後代の別の人によるようで、紀元前400年から200年くらいの間に書かれたものようです。掲載の部分を読むと喜びと希望を沸き立たせるかのような興奮に見舞われませんか。

救い主ともいえる王の来臨。当時の人達も戦火のない世の中を熱望していたのですね。この作者とともに、この歌を熱唱したい気がしますが皆さんはどうでしょうか。戦争は避けられないとの気持ちが徐々に高まっている気がしますが、どんなにきわどい場面に直面しても、戦争を避けて平和を維持する覚悟を更に固める方に賭けるべきではないでしょうか。」

仲田 達男

新入生歓迎BBQ

佐藤千紘

先日行われた「新歓草刈り BBQ」では多くの皆様に大変お世話になりました。急な欠席者が出てしまうなど直前に皆様のお手を煩わせてしまうこともありましたが、お陰様で楽しい時間を過ごすことができました。ありがとうございました。

昨年の草刈り BBQ、私は大学の授業があったため参加することができませんでした。是非参加したい、と思っていたイベントだったので参加出来ずとても残念だったことを今でも覚えています。そういう訳で今年は万を持しての参加となったわけですが、そういった経緯の為ワイズ係という本来この企画を引っ張る存在である私にイベントの経験がない、ということになってしまいました。当日まで色々不安もありましたが、いざ始まるとそんな不安は吹き飛んで様々な経験を積むことができました。鎌を持って草を刈るのも本格的な BBQ をするのも初めてでしたが、どれも私にとってとても楽しい経験となりました。

草刈りでは初めての鎌に最初は苦戦したものの、友達や経験者の方々のアドバイスもあり、後半はスムーズに草を刈ることができました。普段自然と触れ合う機会がありませんので、徐々に自然と触れ合えてとても癒されました。一見雑草に見えるものでもよく見るとキノコや苺などが生えていて、それらを発見するのがとても楽しかったです。

BBQ では主に男子が活躍してくれ私は食べてばかりでしたが、普段はなかなか見られない薪割りを見ることができ非常に興味深かったです。また用意された食材もどれもとても美味しくいただきました。

BBQ 後のアイスブレイクでは須郷くんが用意してくれた「ブラインドサッカー」をしました。ゲームを通して新入生やワイズの皆様と交流を深めることができ良かったです。一日を通して天候にも恵まれ、仲間たちと有意義な時間を過ごすことができました。時には指導し、時には共に遊んでくださった皆様、本当にありがとうございました。

「知ることの大切さ」

一年 宮内蒼也

私が、ひつじぐものバーベキューイベントで感じたことは、「知ることの大切さ」です。

イベントでは、様々なことを知る機会がありました。中でも、私にとって最も印象的であったことは、目が見えないときの世界の広さです。これはレクリエーションの時間に知りました。その時間は、数人でチームを作り、一人だけ目隠しをしてチームメイトの声を頼りに投げられたボールの行方を探し当てるというゲームをやりました。このゲームで目隠しを付け、視界を奪われたときにまず感じたのは、方向が分からなくなっていく感覚でした。最初に向いていた方向から体をずらすと自分がどの方向を向いているのか、はっきりとは分からなくなりました。ゲームが始まり、チームメイトの声を頼りにボールの方向へ歩いていくときは、自分がどれだけ歩いたのかわからなくなりました。歩幅が普段よりも狭くなるため、距離感が狂ってしまったのです。これは、他のチームメイトも同じようでした。このゲームを通して、私は視覚障害のある人が感じている世界と、私たちが感じている世界の違いは思っていたよりもはるかに大きなものであると思いました。これは、「だから障害者の人は大変だ」という単純な結論にはなりません。ここで問題なのは、視覚障害のない人たちが視覚障害者に対してどのように接するかということです。一般に、障害者の方と関わる機会は多くありません。関わる時は何かの補助や、手伝いをするときです。そのような時に、視覚障害があるということが自分の感じている世界とどれほど違うかを知らなければ、適切な手伝いはできません。かえって混乱させたり、迷惑になったりすることもあるかもしれません。必要以上に、心配したり騒いだりする必要はありませんが、自分と相手の間にある認識の差にはしっかりと気を付けなければならないのだと感じました。障害者の方に限らず、今後人と接するときは意識していきたいです。



思い出の Photo Album



まさ割りに初挑戦です



食べ放題のBBQ

特別寄稿

17回目のDBC合同例会 in 浜松

澄川 菊代

浜松駅で懐かしい八王子の方々との1年ぶりの再会に声のトーンが上がります。浜松はいつも新幹線を通り過ぎており、訪れるのは初めてです。浜松イコールうなぎの感覚でしたので、どんなところが興味津々です。

まず楽器博物館へ、私の認識不足でしたが浜松はヤマハの本拠地でした。浜松イコールヤマハでした。世界の珍しい楽器、紙で自動演奏する昔のピアノ、高価な装飾を施した楽器など、音楽好きの私は「お手を触れませんか」の貼り紙があるのも忘れて、つい触ってみたいくなる衝動にかられた魅力的な楽器がズラーと並んでいました。楽器は大昔から世界共通の癒しの道具だったのでね。

奥浜名湖の高台に建っている宿舎での例会では、茂木さんの司会で楽しく進められ、各自の近況報告を聞くことでいつもお会いしていたような錯覚さえ覚えました。また、夕食の美味しかったこと。うなぎも出てきて大満足。

翌日の早天礼拝は宿舎敷地内の林の中で清々しい空気を胸いっぱい吸いながら始まりました。小口さんの奨励は、私自身に置きかえて考えたときどのように決断したらいいかと考えさせられました。

浜名湖遊覧後フラワーパークへ。広大な敷地に手入れの行き届いた樹々、花々で溢れており、植物好きの茂木さんがお薦めの場所と納得しました。四季折々の花や緑が3000種類もあるそうです。この日は真夏並みの気温で汗をかきかき、花から花へ随分歩きました。程よい疲労感に帰りのバスでは大爆睡です。浜松駅で来年の DBC でお会いしましょうと再会を約束しました。

今回も内容が盛りだくさんの交流を深められた企画の旅で八王子クラブに感謝いたします。とても楽しかったです。今年は両クラブとも病気等で参加できなかった方が多くてお顔を見られなかった方がいらっやって残念でした。

高齢化に向かいますので体調管理にはお互い気をつけましょう。いつも思うことですが、年に1回しかお会いしないのにこの親近感には不思議です。合同例会の歴史を振り返ると、随分色んな所へ行ったものだなと懐かしく思いだされます。企画側のクラブは喜んで欲しい一念でプログラムを決めるのですが、これも楽しみのうちです。八王子クラブとの合同例会がずーと続きますように祈りたいと思います。八王子クラブの皆様有難うございました。



一輪の花を集めて 大きな奉仕



浜名湖遊覧 館山寺港

報 告

BF 2016年5月報告

切手: (国内) 0g

累計 240g

○ 第3回あずさ部評議会 (第一例会とみなす)

日時: 5月14日(土) 13:30~17:30

会場: 高尾の森わくわくビレッジ

出席: 長谷川・並木・中塚・山本・小口・久保田・大久保・大久保メネ・佐藤・辻メネ・多河・橋本・福田・茂木・眞野・眞野メネ・中里 (17名)

○ ODBC 合同例会

日時: 5月21~22日(土・日)

場所: 浜松一国民宿舎奥浜名湖

参加者: 大阪・神田・工藤・古家・丸尾・宇都宮・澄川・峠田・林・林田・吉田の皆さん
八王子・茂木・山本・小口・多河・長谷川・福田

○ 5月第二例会

日時: 5月28日(土) 18:00~20:00

会場: 北野事務所小会議室

出席: 小口・多河・中塚・長谷川・福田・茂木・望月・山本 (8名)

・中大学Y新入生歓迎BBQ&草刈り: 5月29日
参加者: 中塚・並木・橋本・福田・茂木・長谷川・中大学生18名・渡邊ユース主査・藤永OB

・ワイズガーデン: 5月29日
茂木・佐藤館長により、皇帝ダリアの芽を摘む、松葉ボタンの種を植える。

【次期の予定】

- ・7月第一例会: 7月9日(土) 担当B班
- ・第1回あずさ部評議会: 7月16日(土)
- ・東京西クラブ創立40周年記念祝会: 7月16日(土) 13:30~17:30 中野サンプラザ会費7,000円
- ・(仮) 東京多摩みなみワイズメンズクラブチャーターナイト: 7月17日(日) 16時~19時 コンティ多摩センター 会費7,000円
- ・あずさ部部会: 10月22日(土)
- ・部長公式訪問: 11月第一例会—11月12日(土)

* 老人デイサービスセンター 鍾水*

【報告】

5月16日(月) ペーパーフラワー 14:00~15:00
参加者: 赤羽・石井・色川・久保田・下重・山中・茂木

【予定】

6月13日(月) 14:00~15:00
同日 11:30 よりメネットとボランティア活動の皆さんと食事会 場所: マチエ マチエ (北野駅より1分)
7月4日(月) ペーパーフラワー 14:00~15:00

西東京センター行事紹介

【ボイストレーニング】@西東京センター

6月14日(火)・28日(火) 14:00~15:00

みんなで声を正して心も体も健康を保ちましょう。

【音訳ボランティア シジューカラ】@西東京センター

6月2日(木)・16日(木) 19:00~21:00

本を音訳して特別支援学校に寄贈しています。

【サマープログラム関係】

- ・6月7日からサマープログラムの予約が始まります。今年からは、WEB予約もスタートします。会員及び定例活動登録者は先行予約もあります。詳細をお知りになりたい方はお問合わせください。
- ・リーダートレーニングも座学、実技と始まり、各キャンプのリーダー会も始まり、いよいよ夏に向けて始動開始です。

6月卓話者紹介

Tap Dance Company Freiheit とは

Lily が主宰を務めるタップダンスカンパニー。



華やかなパフォーマンスがパーティを彩り、迫力のある足音は感動を呼ぶ、と各所で好評を博している。MC や体験会など、観客を巻き込んだショーケースも得意とする。

また、TAP で人・企業・地域を繋ぐ活動として、Freiheit Tap Contribution Project を設立。福祉施設や被災地などにも積極的に訪問し、座ったまま参加できるチェアタップダンスワークショップやチャリティーライブを行うなど、社会貢献活動にも力を入れている。

ダンサー・大学講師・社会貢献活動家という多数の肩書きを持つ、主宰 Lily ならではの観点からお話させていただきます。

6月誕生日の会員

辻 直治

6月6日